

次世代エネルギー・社会システム実証地域提案書 様式

タイトル		
提案者	応募主体を記入する。 ※複数企業による連携・コンソーシアムによる応募の場合はとりまとめ者（自治体、企業等の制限なし）に◎印を記す。	人口： 人 ※実証地域の人口を記入。 複数地域の連携提案については↑に合計人口を記すとともに、↓に各市の人口を記す ・・・・人 ・・・・人 ・・・・人
担当者名及び連絡先	担当 ※連携提案についてはとりまとめ者の連絡担当者を記す 所属 氏名 電話番号／ファックス番号／メールアドレス	
1 全体構想		
次世代エネルギー・社会システム実証地域としての位置づけ		
<p>地域の規模、自然的・社会的状況、取組内容等から見た提案の先導性とその取組や取組の波及等を通じて次世代エネルギー・社会システムを実証するに当たっての考え方、提案を評価する際の観点、提案の特徴について記述する。</p> <p>また、必要に応じて、現状分析や次世代エネルギー・社会システムの構築に向けた取組み等を記載することも可。</p>		

## 2-1 大幅な省エネルギー、CO2削減目標

実証を通じた大幅な省エネルギー目標、温室効果ガスの削減目標を記述する。  
これまでの省エネルギー・温室効果ガス削減の実態とこれまでの取組等を記述し、目標の達成に向けた考え方を記述する。

実証目標の達成に向けた取組み方針については、「次世代エネルギー・社会システム実証」応募提案に求められる内容を踏まえつつ、下記の欄に記載する。

なお、取組み方針の項目立ては「次世代エネルギー・社会システム実証」応募提案に求められる内容の項目と一致する必要は必ずしもない。

また、これらの具体的な取組み方針についての事業総額についても記載する。

具体的な取組み方針	削減の程度及びその見込みの根拠
(例) エネルギーマネジメントシステムの確立 エネルギーマネジメントシステムの導入によって、熱と電気を効率的に活用し、地域単位でのエネルギー消費を効率的なものにする。	●●%の削減
(例) 次世代自動車の大規模な導入 5年間で●●●●台の次世代自動車の導入を図る	
(例) スマートメーターの導入 スマートメーターを大規模に導入し、省エネ・負荷平準化行動を促進する。	
(例) ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの推進 エネルギーの面的利用を促しつつ、現行の省エネ基準の25%以上の省エネを目指す。	
(例) 大規模な再生可能エネルギーの導入 メガソーラーを設置し、大幅な再生可能エネルギーの導入をはかる。	

### フォローアップの方法

提案全体の進捗について、定期的な省エネルギー、温室効果ガスの排出状況の把握、それを踏まえた取組の見直し等フォローアップの方法について記述する。設定した目標値についての普及状況についての把握、それを踏まえた取組みの見直し等フォローアップの方法について記載する。

※必ず改ページ

2-2 エネルギーマネジメントシステムの確立（※取組内容の整理にあたっては、上記の「大幅な省エネルギー、CO2 削減目標」に記載された取組内容の整理の枠組みを基礎とした柱に沿って取組を分類すること。）

取組方針

5年以内に具体化する予定の取組に関する事項

取組の内容	事業規模	主体	時期	省エネ・CO2削減の見込み・フォローアップの方法
(a) (例) エネルギーマネジメントシステムの導入 先行的に、●●地区においてエネルギーマネジメントシステムを導入。翌年には●●地区まで対象を拡大。				削減の見込み 事業の進捗や効果の把握を行うものについてその指標や把握の方法について記載する。
(b) (例) エネルギーマネジメントシステムと連動したデマンドサイドマネジメントの実施 2010年度は●●世帯を対象に、エネルギーマネジメントシステムに連動した家電機器の稼働のコントロールなどを実施。2013年度には●●●●世帯までに対象を拡大。省エネ行動をポイント化し、地域通貨として流通（※ライフスタイルの変革に関する事項で詳述）。				

課題

取組の実施にあたって制度的な課題等が想定される場合にはその内容を記載

(a) ○○○○の実施について、×××の課題がある。

※必ず改ページ

2-3 (例) 次世代自動車の大規模な導入に関する事項				
取組方針				
5年以内に具体化する予定の取組に関する事項				
取組の内容	事業規模	主体	時期	省エネ・CO2削減の見込み・フォローアップの方法
(a) (例) 次世代自動車の大幅な導入 次世代自動車補助金により、自治体からもバックアップを行う。 また、公共交通機関のバスについては、次世代バスに順次切り替える。車の保有台数が多い地域の企業は次世代自動車に切り替える、など。				
(b) (例) 次世代自動車走行地区の設定 ●●地域の環境保全地区／CO2 排出が多い走行地区については、段階的に次世代自動車以外の乗り入れに制限を設ける／チャージを課す。				
(c) (例) ITS の活用による交通の円滑化				
課題				

※必ず改ページ

2-4 (例) ライフスタイルの革新に関する事項				
取組方針				
5年以内に具体化する予定の取組に関する事項				
取組の内容	事業規模	主体	時期	省エネ・CO2削減の見込み・フォローアップの方法
<p>(a) エネルギーの利用・CO2排出の見える化 スマートメーターの導入とともに、各家庭にパネルを設置、消費電力の見える化に加え、どのような行動でどれだけのエネルギー利用量の削減やCO2削減が可能となるか、情報の提供を行う（エアコンの温度を●℃下げると、●●円の電気代節約、CO2の削減になる、など）。 このような省エネ行動をポイント化し、地域通貨として流通させることで、普段の生活に省エネ行動を取り込む。</p>				
<p>(b) 省エネ行動へのインセンティブ 上記のような省エネ行動や、移動手段の低炭素化（パーク&amp;ライド）等をポイント化し、地域通貨として流通させ、省エネ行動をライフスタイルに取り込む。</p>				
課題				

※必ず改ページ

2-5 (例) ◎◎◎◎に関する事項				
取組方針				
5年以内に具体化する予定の取組に関する事項				
取組の内容	事業規模	主体	時期	省エネ・CO2削減の見込み・フォローアップの方法
課題				
取組の実施にあたって制度的な課題等が想定される場合にはその内容を記載				

必ず改ページ

3. 平成22年度中に行う事業の内容			
取組の内容	事業規模	主体	時期
4. 取組体制等			
応募主体の役割	応募主体、連携の者を含め、プレーヤー毎にそれぞれの役割、実施体制図等を記載する。		
行政機関内の連携体制	実証に当たって、地方自治体が有する許認可の柔軟な運用等が必要となる場合の協力の見込みや、実証に当たってのサポート体制などを記載する。		
地域住民等との連携体制	実証実験への市民の参加に当たっての方法などについて記載する。		
大学、地元企業等の知的資源の活用	取組の一部のみに関連する場合には該当する取組の番号を記載 例) 2-1-②-(a) ○○○○の実施について、××、△△から技術の提供を受け・・・		

※ 実施箇所を一覧できる地図を添付すること

※必要に応じて適宜、行や欄の追加、注記・例示の削除を行ってよいが、様式全体の枚数は10枚程度とすること。また、様式に入力する文字は10.5ポイント以上とすること。